

# 2023 MOTOCROSS Hokkaido



2023全道モトクロス選手権シリーズ  
第1戦千歳大会

2023/05/28



# 2023 全道モトクロス選手権シリーズ 第1戦千歳大会

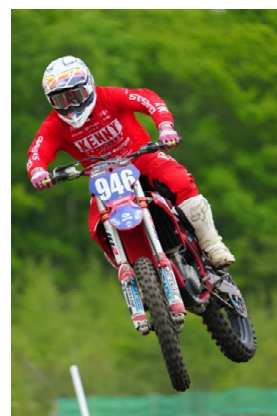
開催場所：2023年5月28日 新千歳モーターランド

写真/記事 鶴巻 佑介



北海道のモトクロス選手権は全国に比べて開幕が遅く、近年は5月下旬が第1戦開催となっています。2023年最も開幕の早い中国地方のモトクロス選手権第1戦山口大会は、なんと2月26日に開催されています。2月の北海道と言え、全面雪で真っ白の状態です。気候の差を感じます。大会当日の千歳市は最高気温19℃程度、午後には小雨も降り始め、肌寒い中での大会開催となりました。

## 【10クラスリザルト】



地方選手権最高峰である国際A級・B級が参戦できる10クラスは、全日本モトクロス選手権も参戦中の#47 木村凌太郎選手が2ヒートとも1位を獲得し、総合優勝となりました。

2位は全日本選手権参戦中#946 桑垣竜斗選手。3位は昨シーズンNAクラスから昇格したばかりの#01 笹島勇氣選手が10クラス初レースで2位表彰台を獲得し、開幕戦から目を離せないほど熱いレースが繰り広げられました。昨シーズン全道選手権、全日本選手権両方参戦していた河西琉選手は全日本に集中するため不参加となりました。( #52 全日本選手権関東大会の写真掲載)





### 【NA-OPENクラスリザルト】



優勝は#338 笹谷野亜選手。  
笹谷選手は昨シーズンの第  
7戦千歳大会で3位を獲得  
しましたが、今大会では2位  
と差をつけて圧勝でした。  
ジュニアクラスの時代に全  
日本モトクロス選手権にも

出場していて、ポイントを獲得している実績もあり、NAクラスの他の選手とは走り方やライン取りが違い、写真のようにコーナーも速いスピードのまま土を巻き上げて抜けていき、迫力がありません。2位は今シーズンNAクラスに昇格したばかりの#55 菊池慶太郎選手。3位は#96 土生隼人選手。

### 【NB-OPENクラスリザルト】



昨シーズンまで15歳までのJXクラスに参戦していた#37 岡田佳大選手が成長と共に今年から排気量が違うNB-OPENクラスでの参戦となり、初戦で初優勝となりました。  
2位は#13 平澤太雅選手、3位は#10 廿日岩達也選手。

### 【JXクラスリザルト】



昨シーズン全戦優勝の#1 酒井隆成選手が、明らかに昨年よりスピードが上がり、2位選手と1周のベストタイム約5秒の差をつけて優勝しました。

2位は#77 鳴海翔英選手、3位は全日本モトクロス選手権参戦中の#44 阿部一斗選手。





## 【K65クラスリザルト】



K65 クラスは、#4 岸本論良選手と#94 阿部哲昇選手の接戦が繰り広げられました。ヒート1は1位阿部選手・2位岸本選手の一方ヒート2では順位が入れ替わり1位岸本選手・2位阿部選手となりました。1位は25pt、2位20ptとなり、どちらの選手も総合得点45ptの同点でしたが、モトクロスではヒート2で上位だった選手が優位となるルールがあるため、総合優勝は岸本選手となりました。ヒート2では0.1秒差というほぼ横並びでチェッカーフラッグを受け、リザルトを見るまでどちらが前だったかわからないほどでした。阿部選手は今シーズンも全日本モトクロス選手権に参戦していて、開幕九州大会ではCX50クラスで優勝しています。3位は酒井力斗選手。酒井選手も昨シーズン全日本モトクロス選手権の最終戦SUGO大会CX50クラスで優勝しています。ヒート1で3位獲得した#11石垣蒼大選手は酒井選手



と同ポイントでしたがヒート2では酒井選手が上位であったため、惜しくも総合4位となりました。

## 【CX50Aクラス・Bクラスリザルト】







Aクラス優勝は昨シーズンに引き続き#1 酒井力斗選手、2位は#94 阿部哲昇選手、3位は#2 鈴木颯真選手でした。3選手ともK65クラスに出場しています。大きな排気量のバイクに

早く慣れることも、速さの秘訣のようです。

Bクラスは2ストロークエンジンの50ccで、参加は#2B 門間大和選手1名となりました。A・Bクラスで総合1位を獲得しました。門間選手は昨シーズンに続き、全日本モトクロス選手権に参戦しています。

また、Aクラス4位#7 石垣嵐士選手、5位#5 岸本昂駕選手、6位#6 浪花慶人選手でした。

転倒している選手もいましたが

自分で起き上がり、最後まで頑張って走り切っていました。どの選手が将来のチャンピオンとなるでしょうか？

【NB85クラス】



優勝は#2 牧原武司選手、2位は#3 鎌水よう子選手、3位は池田博貴選手でした。8名の出場でしたが、過去には20台前後の参加があったこともあり、今大会は各選手が独走状態でいつもより少

し静かな感じで、寂しさのあるレースとなりました。

【OP85クラス】



優勝は#1 酒井隆成選手が2位の選手に1分14秒もの差をつけて圧勝でした。2位は#44 阿部一斗選手、3位は#4 竹村碧生選手でした。



## 【開会式、表彰式風景】



**2023年7月30日(日)**  
**今大会の会場新千歳モーターランドで**  
**全日本モトクロス選手権開催します！**



第1戦千歳大会リザルト

<https://www.mfj.or.jp/wp-content/uploads/2023/01/2023hokkaidoMXr1%E3%83%AA%E3%82%B6%E3%83%AB%E3%83%88.pdf>

2ヒート制総合ポイント

<https://www.mfj.or.jp/wp-content/uploads/2023/01/hokkaidoMXr1souougoupoint.pdf>

2023年シリーズランキング

[https://www.mfj.or.jp/wp-content/uploads/2023/01/2023hokkaido-mxMX%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%82%AD%E3%83%B3%E3%82%B0\\_20230528.pdf](https://www.mfj.or.jp/wp-content/uploads/2023/01/2023hokkaido-mxMX%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%82%AD%E3%83%B3%E3%82%B0_20230528.pdf)

